

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	女子美術大学
設置者名	学校法人女子美術大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
芸術学部	美術学科 洋画・日本画・立体アート・美術教育専攻	夜・通信	8	-	10	18	13	
	美術学科 芸術文化専攻	夜・通信			6	14	13	
	デザイン・工芸学科	夜・通信			10	18	13	
	アート・デザイン表現学科	夜・通信			10	18	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.joshi.ac.jp/publication/shugakushien

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	女子美術大学
設置者名	学校法人女子美術大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.joshi.ac.jp/about/president>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人役員	2019. 6. 1 ～2023. 5. 31	学校法人制度 ・ 運営全般
非常勤	株式会社役員	2019. 6. 1 ～2023. 5. 31	財政改革
非常勤	株式会社役員	2019. 6. 1 ～2023. 5. 31	ガバナンス改革
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	女子美術大学
設置者名	学校法人女子美術大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成過程 各教員に作成の手引を配付し作成・提出させ、委員会等でチェックの上、本学ホームページにて公表している。 ・授業計画の作成・公表時期 前年度末～当該年度初(履修登録手続開始前) 	
授業計画書の公表方法	https://aa.joshibi.net/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EU&opi=mt0010
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 各学生の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・GPA等の客観的な指標の具体的な内容（指標の算出方法など）
履修登録した科目の成績を5段階で評価し、4～0のグレードポイントを付している。

評価	評価基準	合否	GP
S	100～90点	合格	4
A	89～80点		3
B	79～70点		2
C	69～60点		1
D	59点以下	不合格	0
F	採点対象外（出席不良等）	採点不可	0

※学期 GPA = 学期毎で履修した科目の（単位数×GP）の合計／当該学期履修登録単位数
 ※通算 GPA = [学期毎で履修した科目の（単位数×GP）の合計]の総計／総履修登録単位数
 ※GPA対象外科目：認定科目（単位互換等）及び卒業要件に含まれない科目（教職等）

- ・客観的な指標の適切な実施状況
あらかじめ設定した算出方法により、GPAの数値を算出している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/static_page_file/2019-05/20190408_大学_履修の手引.pdf
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。「知識・理解」
- ・課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。「関心・意欲・態度」
- ・課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。「思考・判断」
- ・芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。「技能・表現」
- ・自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。「技能・表現」

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/paragraph_file/2019-06/大学学則(20190403).pdf https://www.joshi.ac.jp/about/philosophy/diploma
------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	女子美術大学
設置者名	学校法人女子美術大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/paragraph_file/2019-06/学校法人女子美術大学平成30年度事業報告書.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/paragraph_file/2019-06/学校法人女子美術大学平成30年度事業報告書.pdf
財産目録	https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/paragraph_file/2019-06/学校法人女子美術大学平成30年度事業報告書.pdf
事業報告書	https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/paragraph_file/2019-06/学校法人女子美術大学平成30年度事業報告書.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/paragraph_file/2019-06/学校法人女子美術大学平成30年度事業報告書.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法: (参考) 単年度計画の実施結果のみを毎年度の事業報告書に記載し、大学ホームページで公表。 https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/paragraph_file/2019-06/学校法人女子美術大学平成30年度事業報告書.pdf	
中長期計画(名称: 学校法人女子美術大学中期事業計画 対象年度: 平成28年度から令和元年度まで)	
公表方法: 毎年度の事業報告書に記載し、大学ホームページで公表。 https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/paragraph_file/2019-06/学校法人女子美術大学平成30年度事業報告書.pdf	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：自己点検・評価報告書を大学ホームページで公表。

https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/paragraph_file/2019-06/平成30年度女子美術大学自己点検・評価報告書.pdf

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：認証評価機関から通知された評価結果を大学ホームページで公表。

https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/paragraph_file/2019-06/h27_daigakuhyouka_2.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 芸術学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.joshibi.ac.jp/about/philosophy/educational)
(概要) 美術学科 過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。 デザイン・工芸学科 人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。 アート・デザイン表現学科 ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.joshibi.ac.jp/about/philosophy/diploma)
(概要) ・芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。「知識・理解」 ・課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。「関心・意欲・態度」 ・課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。「思考・判断」 ・芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。「技能・表現」 ・自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。「技能・表現」

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.joshibi.ac.jp/about/philosophy/curriculum)</p>
<p>(概要) 美術学科 教育目標に到達すべく、各専攻のカリキュラムと学科共通科目を通して、美術史や芸術理論を学び、他ジャンルにおける芸術の表現方法や素材に触れ、感性を養い、専門領域での表現に反映できるカリキュラムを編成する。</p> <p>デザイン・工芸学科 教育目標に到達すべく、各専攻のカリキュラムと学科共通科目を通して、デザインと工芸分野を中心とした幅広い知識やプレゼンテーション・スキルを身につけ、他専攻の横断的実技を経験することで自らの特性や個性、能力を見つめ直し、専門領域での表現に反映できるカリキュラムを編成する。</p> <p>アート・デザイン表現学科 教育目標に到達すべく、各領域のカリキュラムと学科共通科目を通して、アートとデザインに関する基礎を学ぶとともに、コミュニケーションとコラボレーションをキーワードとし、専門領域での表現に反映できるカリキュラムを編成する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.joshibi.ac.jp/about/philosophy/admission)</p>
<p>(概要) 美術・デザインに深い興味を持ち、専門家としてそれぞれの分野で活躍することを目指す人、芸術によって社会に貢献し自立したいという意欲ある人材を求めます。 求める資質・能力としては、芸術に対し自由で柔軟な考え方を持っていること、対象をよく観察し理解する眼を持っていること、問題意識を持ち自ら考える姿勢を持っていること、個性を素直にのびのびと表現できることが挙げられます。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.joshibi.ac.jp/department</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
芸術学部	—	41人	12人	2人	14人	43人	112人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		548人					550人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://aa.joshihi.net/kokai_web/johokokai/JU0010.aspx?me=U5&opi=mt0010					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FD委員会により策定された中期計画・年度計画に基づき、講演会、研修会、教員相互の公開授業などを実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
芸術学部	570人	650人	114%	2380人	2472人	103%	40人	31人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	570人	650人	114%	2380人	2472人	103%	40人	31人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
芸術学部	554人 (100%)	30人 (5.4%)	327人 (59.0%)	197人 (35.6%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	554人 (100%)	30人 (5.4%)	327人 (59.0%)	197人 (35.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
芸術学部	590人 (100%)	493人 (83.6%)	34人 (5.8%)	63人 (10.7%)	0人 (0%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	590人 (100%)	493人 (83.6%)	34人 (5.8%)	63人 (10.7%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）の作成過程 各教員に作成の手引を配付し作成・提出させ、委員会等でチェックの上、本学ホームページにて公表している。 ・授業計画の作成・公表時期 前年度末～当該年度初（履修登録手続開始前） ・授業計画の公表方法 ホームページアドレス：https://aa.joshiibi.net/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EU&opi=mt0010

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

- GPA 等の客観的な指標の具体的な内容 (指標の算出方法など)
履修登録した科目の成績を5段階で評価し、4~0のグレードポイントを付している。

評価	評価基準	可否	GP
S	100~90点	合格	4
A	89~80点		3
B	79~70点		2
C	69~60点		1
D	59点以下	不合格	0
F	採点対象外 (出席不良等)	採点不可	0

- ※学期 GPA = 学期毎で履修した科目の (単位数×GP) の合計 / 当該学期履修登録単位数
- ※通算 GPA = [学期毎で履修した科目の (単位数×GP) の合計] の総計 / 総履修登録単位数
- ※GPA 対象外科目: 認定科目 (単位互換等) 及び卒業要件に含まれない科目 (教職等)
- 客観的な指標の適切な実施状況
あらかじめ設定した算出方法により、GPA の数値を算出している。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
芸術学部	美術学科	124 単位	有・無	42・49 単位
	デザイン・工芸学科	124 単位	有・無	42・49 単位
	アート・デザイン表現学科	124 単位	有・無	42・49 単位
		単位	有・無	単位

GPA の活用状況 (任意記載事項) 公表方法 : https://www.joshi.ac.jp/sites/default/files/static_page_file/2019-05/20190408_大学_履修の手引.pdf

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項) 公表方法 : 授業アンケート結果を集計・冊子化し、学内教職員と学生が閲覧できるようにしている。

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <https://www.joshi.ac.jp/campuslife/establishment/sagamihara>
<https://www.joshi.ac.jp/campuslife/establishment/suginami>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
芸術学部	美術学科	1,198,000 円	220,000 円	410,000 円	施設設備整備費、維持費
	デザイン・工芸学科	1,198,000 円	220,000 円	410,000 円	施設設備整備費、維持費
	アート・デザイン表現学科	1,198,000 円	220,000 円	410,000 円	施設設備整備費、維持費
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>経済的支援の中心である奨学金制度は、返済負担がない給付型のみを設け、学業に専念できる環境を整備している。奨学金は、主に「経済支援」と「学業奨励」を目的とし、経済的理由による退学防止と学生の就学意欲の向上を図っている。海外留学を希望する学生に対しては、「女子美海外留学奨学金」を授与し、学外での学修を積極的に支援している。奨学金による支援が困難である学生に対しては、「学内ワークスタディ」として本学の業務に補助的に従事させる制度を設け、更なる経済的支援を行っている。そのほか、学生又は保証人が自然災害などにより甚大な被害を受けた場合に被災状況に応じて授業料を減免する「大規模自然災害被災学生授業料等減免」制度がある。減免額については、災害毎に定める。また、市中金融機関（銀行3行、信販会社3社）と提携し、学生（保証人）は低金利での借入れが可能である。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>キャリア教育科目の授業の他、実践型講座によるクリエイティブ職や専門職への就職をサポート。また、資格取得サポート強化策としてIllustrator・PhotoshopなどのPC講座・検定の実施。面談スタッフ増員による学生の就職相談機会の増加。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>保健センター（学生相談室・医務室）を設置し、学生の心身両面の健康増進に努めている。学生相談室では、常勤のキャンパスソーシャルワーカーを配置し、教職員相談員、精神科医、臨床心理士等が健康、修学のほか、あらゆる相談も受け付けている。医務室では、校医、産業医、看護師が、定期健康診断の実施や怪我や急病に対応している。また、ハラスメントの防止及び排除、ハラスメントに起因する問題が生じた場合の対応に関し、必要な事項を定め、ハラスメントのないキャンパスを目指している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.joshi.ac.jp/publication>

○芸術学部全学共通科目 実務家教員担当科目（令和2年度版）

科目名	担当教員名	実務経験	実務経験と本科目の関係	単位数
精神保健	前田基成 他	大学併設学生相談室室長	左記実務経験を活かし、自己実現のためにはどうしたらよいかを論じ、さらに精神的疾患に対する見方・考え方について説明する。	2
心身医学	前田基成 他	大学併設学生相談室室長	左記実務経験を活かし、ストレス社会で精神的・身体的健康を保つにはどうしたらよいかなどについて解説する。	2
青年心理学	前田基成 他	大学併設学生相談室室長	左記実務経験を活かし、対人関係、性的発達など身近なことからについて心理学的な考察を行う。	2
教育心理学	前田基成 他	大学併設学生相談室室長	左記実務経験を活かし、人間の行動の法則性とそれに基づき将来、教員や母親の候補生に効果的な理解や指導とはどのようなものかについて説明する。	2
コンピュータ入門A	佐藤紀子 他	デザイン会社での企業研修用プレゼンテーションの作成、学会での発表資料の作成経験	左記実務経験を活かし、コンピュータの基本的な操作、およびOffice系のソフトウェアのそれぞれの特徴、基本操作の解説を行う。	2
コンピュータ入門B	佐藤紀子 他	デザイン会社での企業研修用プレゼンテーションの作成、学会での発表資料の作成経験	左記実務経験を活かし、DTPに必要なソフトウェアの特徴および基本操作、データ作成を目的に合わせて効率的に行う作業方法を解説する。	2
図学A	佐藤紀子 他	中学校美術教員	左記実務経験を活かし、「正投象」による図法、および美術教員採用試験で問われる用語などについて解説する。	2
健康科学	小川佳代子 他	健康運動指導士	健康づくりや介護予防（企業フィットネス・自治体の健康教室）・疾患治療（病院内での生活習慣病患者の運動療法）における運動及び生活指導の経験を活かし、現代女性が抱える健康問題を解決する生活行動を理論と実技の両面から指導する。	2
スポーツ演習D	小川佳代子 他	健康運動指導士	健康づくりや介護予防（企業フィットネス・自治体の健康教室）・疾患治療（病院内での生活習慣病患者の運動療法）における運動及び生活指導の経験を活かし、現代女性が抱える健康問題を解決する生活行動を理論と実技の両面から指導する。	1

※美術学科、デザイン・工芸学科、アート・デザイン表現学科 各17単位

○芸術学部専門科目 実務家教員担当科目（令和2年度版）

科目名	担当教員名	実務経験	実務経験と本科目の関係	単位数
卒業制作 (洋画専攻 洋画・版画)	福土朋子・清水美三子他	画家・版画家等	左記実務経験を活かし、学生の作品制作に用いる素材・技法と芸術表現について指導し、自立した活動を行えるアーティストとしての表現力を身につけさせる。	10
卒業制作（日本画専攻）	岸野香他	画家等	左記実務経験を活かし、学生の作品制作に用いる素材・技法と芸術表現について指導し、自立した活動を行えるアーティストとしての表現力を身につけさせる。	10
卒業制作（立体アート専攻）	平戸貢児他	彫刻家等	左記実務経験を活かし、学生の作品制作に用いる素材・技法と芸術表現について指導し、自立した活動を行えるアーティストとしての表現力を身につけさせる。	10
卒業研究（美術教育専攻）	鈴木淳子他	中学校副校長等	左記実務経験を活かし、美術や美術教育に関する研究テーマを設定し、調査・研究する際の指導を行う。また、作品制作に用いる素材・技法と芸術表現について指導し、将来的に美術教育に携わる者として必要なスキルを指導する。	10
卒業研究（芸術文化専攻）	杉田敦他	美術評論家等	左記実務経験を活かし、学生の研究テーマにそった方法論によって研究をすすめる際に指導を行う。	4
卒業制作（ビジュアルデザイン専攻）	野又穂他	企業アートディレクター等	左記実務経験を活かし、学生がビジュアルデザインのカテゴリー中から作品制作するにあたり、指導を行う。	10
卒業制作（プロダクトデザイン専攻）	松本博子他	企業デザインセンター勤務等	左記実務経験を活かし、学生がプロダクトデザインのカテゴリー中から作品制作するにあたり、指導を行う。	10
卒業制作（環境デザイン専攻）	吉田貴子他	デザイン事務所（インテリア・スペースデザイン）勤務等	左記実務経験を活かし、学生が環境デザインのカテゴリー中から作品制作するにあたり、指導を行う。	10
卒業制作（工芸専攻）	渡邊三奈子他	テキスタイルアーティスト等	左記実務経験を活かし、学生が工芸のカテゴリー中から作品制作するにあたり、指導を行う。	10
卒業制作（メディア表現領域）	小笠原たけし他	C G クリエーター等	左記実務経験を活かし、学生がメディアデザインのカテゴリー中から作品制作するにあたり、指導を行う。	10
卒業制作（ヒーリング表現領域）	山野雅之他	医療・福祉空間デザイナー等	左記実務経験を活かし、学生が病院等における癒しをテーマとしたデザインのカテゴリー中から作品を制作するにあたり、指導を行う。	10
卒業制作（ファッションテキスタイル表現領域）	山村美紀他	ファッションブランドパタンナー等	左記実務経験を活かし、学生がファッションデザイン・テキスタイルデザインのカテゴリーの中から作品制作するにあたり、指導を行う。	10
卒業研究（アートプロデュース表現領域）	日沼禎子他	公立大学併設美術館学芸員等	左記実務経験を活かし、学生の研究テーマにそった方法論によって研究をすすめる際に指導を行う。	10
芸術文化基礎Ⅱ A（芸術文化専攻）	杉田敦他	美術評論家等	左記実務経験を活かし、研究に必要な基礎知識、考え方、方法について指導を行う。	2

※芸術文化専攻のみ6単位 内訳：『卒業研究』(4)・『芸術文化基礎Ⅱ A』(2)